

ココロのままに



mikatuki98

どうしてもココに来てしまう。

気が付くとボクはココに居る。

その理由は、ココにダンシングマシンがあるからだろうと思っていた。

ならばココに来るや否や、このダンシングマシンで遊べばいいじゃないか。

.....だけど、ボクはもう3時間もダンシングマシンの前に座って、ただそれを眺めている。

ボクは想像した。

あの中央のサークルに立てばマシンが作動し、鳴り出した音楽に合わせて東西南北と二本の足で忙しくステップを踏み、間違えると多分「あっ、しまった！」と思いながらも、鳴り続ける音楽に追い立てられるように二本の足に「もっと速く！」と命じながら、無理やり動かそうと必死になるに違いな。

.....そう、無理やり。

しかしよくよく見ると、ダンシングマシンは猫型なのだ。

猫型なんだと思えば思うほど、身体が固まってしまって動けない。

「だって猫であるボクが、マシンにしる何にしる、他の猫に踊らされるなんて.....なんだか嫌だ」

.....そう、嫌なんだ。

ボクはダンシングマシンの前に座り込んで、3時間余りこんなことをウダウダと考えた末、3分間だけココロのままに踊ってみることにした。

♪ボクは踊る 気持ちよく踊る 自分の意思で踊る

♪自分の好きな音楽に合わせて踊る

♪なんて楽しいんだろう なんて愉快なんだろう♪

♪ステップステップ ミュージックミュージック

ココロのままに踊ってみたボクは、猫型なんてもう気にならなかった。

そしてココロの底からこう思った。

「二度と再び、ボクはココに来ることはないだろう」 了